



ISF 独立言論フォーラム

からのお願い

ISF独立言論フォーラムは資金難に直面しています。  
活動を継続するため【クラウドファンディング】で  
資金を集めます。皆様のご支援をお願いいたします。



多くの人々はこの社会で、「報道の自由」が保証されていると思われているかもしれませんが。しかし実際は、一握りの巨大報道機関によって特定の価値観・基準に従って情報が管理されているのが現状です。そこでは「異論」が排除され、メディアによる「報道しない自由」の恣意的行使によって本当に知らされるべき事実が伝わっていません。

ISF独立言論フォーラム (<https://isfweb.org/>) はこうしたメディアと社会の閉鎖状況に風穴を開けて希望のある日本社会を実現するためにさまざまな情報発信を続けています。新企画として「市民記者」募集を始める予定です。ISFではこのたび情報発信活動の継続とさらなる発展を目指してクラウドファンディングを始めることになりました。真実探究と戦争廃絶を目指す私たちISFへのご支援をお願いします！

新企画

「市民記者」  
募集

2024年1月5日スタート！

クラウドファンディング「キャンプファイヤー」ISFページはこちら↓

<https://camp-fire.jp/projects/view/721657>



ISF独立言論フォーラム 担当：木村編集長

東京都港区北青山2-14-4 アーガイル青山14F (〒107-0061)



info@isfweb.org

# ISF独立言論フォーラムに熱い 応援メッセージをいただきました。

元総理  
鳩山友紀夫さん



新しい戦前などという言葉が生まれ、きな臭さが漂い始めています。それでも多くの国民は気付きません。それは政官業の癒着に留まらず、大手のメディアまでが彼らの意向を忖度するからです。そしてその旧態依然とした日本システムが米国というか米軍に従属しているからです。今多くの日本人の目を覚ますには、この日本の古いシステムにメスを入れなければなりません。そこで、独立言論フォーラム（ISF）が偏向した大手メディアでは報じられない真実をありのままに伝えようとしているのは、とても勇気のある行動だと注目しています。大きな声にかき消されないように、みなさんの良心で小さくともキラリと光るISFをお育ていただきたいと思います。

ジャーナリスト  
鳥越俊太郎さん



日頃記者会見などで「敵基地攻撃能力」を閣議決定したことなどを話している総理大臣をみると、この男、岸田文雄は本当に国民を戦争の淵に落とし込んでいるのをどこまで分かっているのか？理解不能になります。もし誰かの利益のために43兆円もの「防衛財源確保法」などを決めているとすれば、日本国民に対する歴史的な重大犯罪です。日本国民は岸田政権の即刻退陣を要求し、一日も早くこの愚かで危険な男を詰み取り、背後にある国民と日本の歴史に対する重大な陰謀を取り除きましょう！そのために日頃から真実探究と戦争廃絶を掲げて貴重な情報発信を続けているISF独立言論フォーラムに私は大いに期待しています。

60年安保闘争を戦った一人の男より

青山学院大学名誉教授  
羽場久美子さん



新しい戦前などという言葉が生まれ、ロシア・ウクライナ戦争が始まってから、かつてないほど、メディアは一方的な報道しかなくなりました。今、戦争前状況と言われる時代にあり、重要なことは、多様な真実に触れること、自分の頭で考えること、一つの真実に頼らないことでしょう。すべての人が信じてきた事実を検証する中で新たな真実を発見していくことは素晴らしいことです。ISFは、現代のメディアが語らないこと、いえないことを丁寧に拾い、皆さんに配信し、大手メディアの報道によって一面的になる考えを是正しようとする組織です。高くアンテナを張り、何が真実なのかを見極める目を持ちたいと思います。ISFはそれを提供してくれる貴重な媒体です。大変な時代にこそ頑張っていたいただきたい。

# ISF独立言論フォーラムに熱い 応援メッセージをいただきました。

映画監督  
森達也さん



週刊文春は雑誌ジャーナリズムだ。記者クラブには入れない。話題になるなら何でもやる。芸能ネタはもちろん、政権与党も叩くし野党にも容赦しない。現在の話題は木原誠二官房副長官の妻をめぐる殺人罪疑惑。過去にはベッキーの不倫騒動もあった。森友問題で自殺した職員遺書を全文公開したかと思えば、黒川弘務検事長の接待賭けマージャン暴露もあった。結果として文春が政治権力を看視している現在の状況は、メインストリームメディアがほぼ機能停止していることを示している。多様な視点を提供する新たなメディアが必要だ。ISFはその使命を果たせるのか。まだわからない。だって始まったばかりだ。だからこそ市民の支援は必要だ。

ごぼうの党代表  
奥野卓志さん



敗戦国である日本は内閣総理大臣でも決められない事があります。勤勉で真面目で嘘を付かず見えない所にも手を抜かない日本人。財布を落としても返ってきます。落とし物をしたなら交番に届けます。そんな我が国はカダフィー大佐のリビアと共にマイナス成長です。全世界192カ国の平均経済成長率は139%。日本はマイナス20%成長です。勤勉な国民が悪いのか？政治が悪いのか？どちらでしょうか？陰謀論で済ませて良いのですか？私はISF独立言論フォーラムが真実を探求する人のこの指止まれの「この指」だと思っています。この国の真実を知りたいと思ったなら迷わずISF独立言論フォーラムの扉を叩けば良いのです。

辺野古 県民投票の会元代表 / 大学院生  
元山仁士郎さん



左右のイデオロギーを問わず平和と人権を重んじる普遍的な平和主義・民主主義・人道主義の立場から、主にインターネットで情報発信を行っているISF独立言論フォーラム。その目的・役割のひとつである、沖縄基地問題の根本的解決の実現に賛同しています。代表理事や副編集長、理事らによるこれまでの経験・知見を活かし、自律した市民のための独立系メディアとしてさまざまな情報を発信するとともに、取材や調査を基にした地道なファクトチェックにも期待しています。



# ISF独立言論フォーラムに熱い 応援メッセージをいただきました。

一水会代表  
木村三浩さん



対米自立・真実探求を目指すISFの役割は重要だ！  
真実探求と戦争廃絶を目指すISF独立言論フォーラムの活動はとても重要です。既存のニュースだけではなく、世界や社会の真実の動きを感知してそれを発信することには崇高な価値があります。まさに権力と大手メディアが一体化して行う情報操作に対し抗い、メディアの最大の目的である権力の監視・批判が脆弱になっていくなかで、ISFが果たす役割は非常に大きくなっています。しかし、真実探求、戦争廃絶を目指す者は、なかなかスポンサーがつけづらいのも事実です。ISFの平和構築ファンドが枯渇しそうです。この窮状を打開し、ISFの存続を通して対米自立の平和な日本を築いていくために、連帯と惜しみないご支援をお願い申し上げます。

沖縄国際大学名誉教授  
石原昌家さん



木村朗さんが、今やジャーナリストとしても鹿児島大学時代に培われた幅広い知識や幅広い人脈を活かした活動を展開中です。沖縄にも足しげく通い、東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会の共同代表として、研究会の開催や会誌発刊の強力な推進力となってきました。その影響力は、元知事、元総理大臣や韓国の研究者などもシンポジウムに参加させるほど、絶大です。また、FMぎのわんの「沖縄平和トークングラジオ」でも木村さんがパーソナリティーとして、さまざま人たちを登場させ、幅広く問題提起しています。私も隔月で出演して、ライフワークとする沖縄戦を語らせていただいています。ISFはそれらの活動も集約させ全国・世界へ発信する貴重な役割を担っていると思います。

ピース・フィロソフィーセンター代表  
(カナダ・バンクーバー在住)  
乗松聡子さん



世界中で戦取材を半世紀以上も続けてきた、ジョン・ピルジャー氏やシーモア・ハーシュ氏などベテランジャーナリストたちが今、「長い人生でここまで西側の主要メディアが嘘をつくようになったのは見たことがない」と言っています。主要メディアの大本営発表化はウクライナ戦争以来加速しています。軍産複合体が政治、学界、報道界も牛耳るようになり、異論を唱えようとする者を「陰謀論者」と呼び、事実を報道する者を「プロパガンダ」と呼んで貶める情報操作が顕著です。権力とメディアの境目がなくなった今、市民が情報を取るソースとしてのISFのような独立メディアの果たせる役割はますます大きいと思います。ISFの存続と活躍を応援します。